

令和8年2月7日 長崎市育成連「事例発表」

# みんなの居場所づくり

---

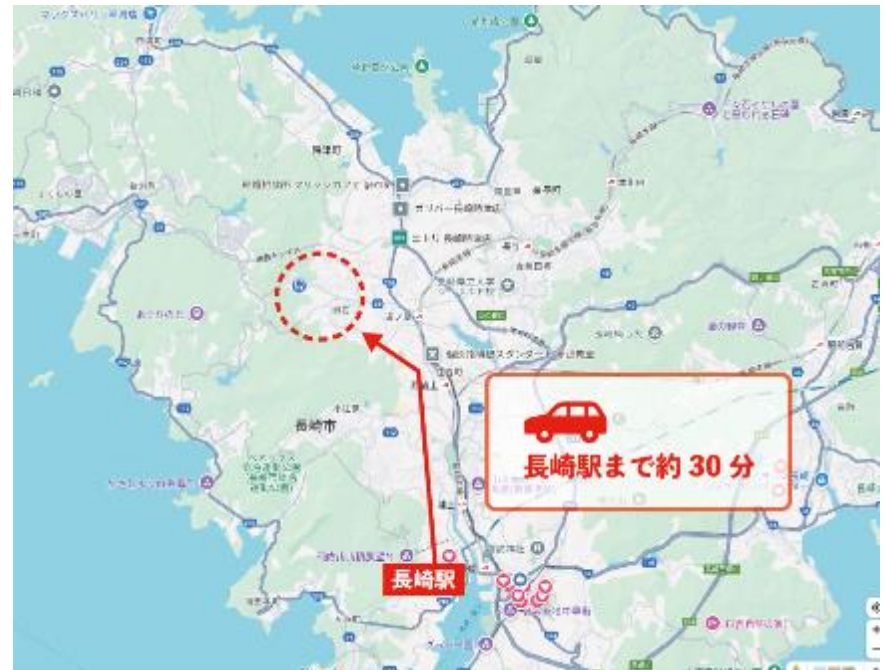
■ 北陽小育成協 ■ 発表者：平たけし(会長)

# 北陽育成協は、どこ？



▲よく“北部”と言われる

※いわゆる昭和の“ニュータウン”  
※大園小・横尾小・滑石小校区と隣接



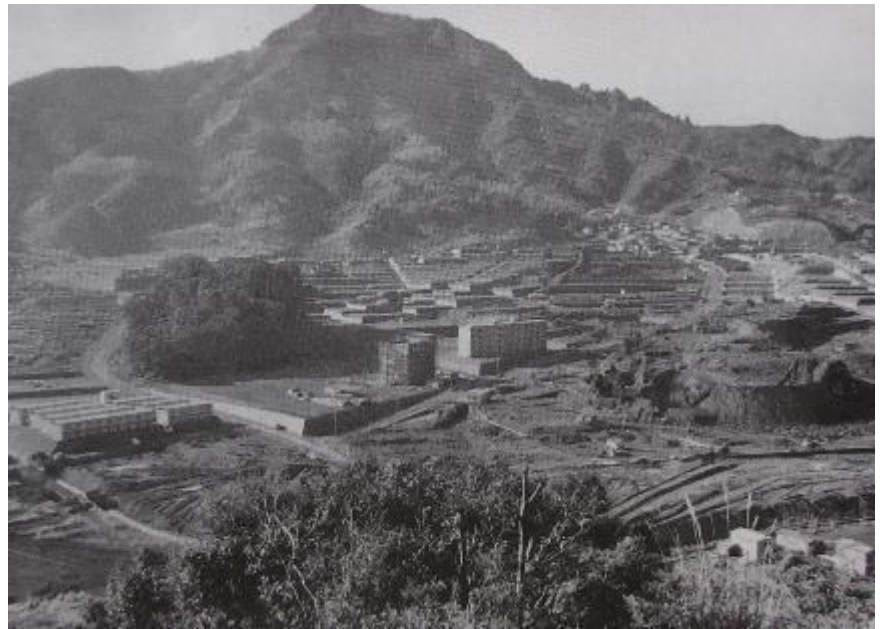
▲市街地へナイスアクセス！

# 北陽小校区はどんな地域①



▲昭和30年代  
滑石団地造成前の滑石村

※写真左側は現・北陽地区  
※写真右側が現・横尾地区  
※左上が三重方面に抜ける道



▲昭和40年代団地造成が進む滑石地区

※後ろの山は岩屋山  
※写真左の木々がこんもりした所は滑石太神宮

## 北陽小校区はどんな地域②



### ▲昭和50年代、滑石団地協議会主催で開催していた「滑石まつり」

※この地域の人口が約6万人まで増加し地域活動も活発に行われていた

※写真右は“ミス滑石”を先頭に防犯パレード

※写真左は「滑石まつり」での各町の出し物『こども神輿』

※この時代はとにかく人が多く、地域活動、地域商売なども右肩上がりだった

# 現在の「北陽小育成協」の取り組み



# ◎こども主役、自立心を育む取り組み

## 北陽小「1DAYキャンプ」



▲ずぶ濡れ「水鉄砲合戦」



▲そうめん流し



▲グループで家族の晩ごはんづくり  
(メニュー決め→買物→料理→持帰り「自宅で家族と...」)



## 北陽小「門松づくり」



▲ノコギリやペンチを使い  
親子でオリジナルの  
門松づくり  
(左は図工室作業風景)

# ◎地元を子供たちの“心のホーム”に

## 「卒業おめでとう展」



▲滑石中卒業生に地域みんなで応援メッセージ



▲地元の保育園や幼稚園  
高齢施設、商店などの  
地域の人たちからも！



▲約100人分のメッセージ  
滑石中3年生教室そばに  
卒業式前2週間展示

## 地域清掃「ピカピカ大作戦」



▲地域内の公園や通学路を地コミと合同で定期清掃  
(かならずご褒美あり。お菓子やカレーなど)



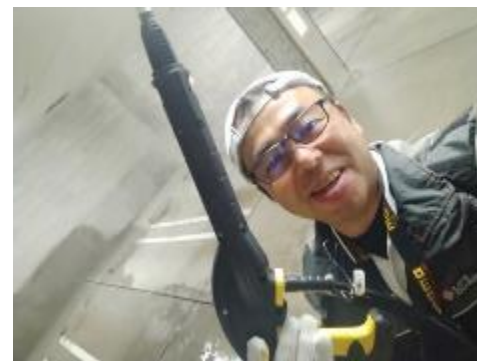
# ◎ほかにもいろいろと取組み中



▲北陽小児童に安全講習



▲地元秋まつり前にフードコートとなる駐車場のクリーン活動



▲通学路危険箇所視察



▲北陽小児童に郷土学習



# みんなの居場所づくり

(令和6年度からの新しい取組み)

# 『なぜ取り組んだか？』

## 【育成協の課題】

- ・いろいろと活動するが、人が来ない...
- ・いつも同じメンバー、新しい仲間が増えない...
- ・地域の人やシニア層にも参加してほしい...
- ・コアメンバーを増やしたいが...
- ・主催する自分たちがツラくなってないか...etc

※育成協の活動を継続していくには？

# 『課題に対してどうする？』①

## 【課題への挑戦】

- ・いろいろと活動するが人が来ない...
- ・いつも同じメンバー、新しい仲間が増えない...
  - 行事自体、内容、開催日程・時間の見直しを！
  - 令和の子供・保護者のニーズに合ってるか？
- ・地域の人やシニア層にも参加してほしい...
  - 地域全体への告知・周知はできてるか？
  - 従来の「回覧板」「掲示板」「チラシ」でいいのか？
  - 来てほしい行事の内容がニーズにあっているか？

# 『課題に対してどうする？』②

## 【育成協の課題】

- ・コアメンバーを増やしたいが...
- ・主催する自分たちがツラくなってないか...etc
- 自分たち自らが楽しくやってるか？
- 鏡を見ろ！ツライ顔で動いてないか？
- 今の組織に新顔を受け入れる土壌はあるか？

※今の動きに疑問を持つ

※周り（社会や今の親は...）のせいにしない

※原因は内側にあることがあることを認める



# 課題を元に考えたアイデアが “みんなの居場所づくり”

①広い世代に共通した興味あること

→「食」「食べること」

(行動を起こしたくなるほどのメニューって何?)

②安心して行ける場所とは？

→地域の学校(我が子が通った馴染みある小中学校だったりする)

→コミュニティスクール(北陽小)の目的と一致

→開催日時によっては車でも行ける

# 【地域活動あるある】

ちょっと  
ブレイク

## ・さばける人材＝いい人材

※とにかく作業が早い人が重宝される

## ・マイペースな人材＝使えない人材

※「早くせろ！」の圧が強い（結果→参加したくない😓）

※手伝ってるのに怒られる（結果→参加したくない😡）

新顔を受け入れる時に

“マイペースな作業”を受け入れる寛大な心が必要

# 課題を元に考えたアイデアが “みんなの居場所”づくり

## ③プラスαをどうする

※①②ではまだ弱い、もっと行きたくなる仕掛けを

→図書室を開放し、時間つぶしの空間を

→ボードやカードゲームを多数準備して、

食後にもダラダラと過ごせるコーナーを設ける

→極上の珈琲を準備し、滞在してもいい理由を作る

※滞在時間を増やすことで

交流したり会話したりする機会が増える

地域課題に取り組むアイデアの1つ

# 「北陽みんなの学校」

- ①図書館開放
- ②みんなの食堂  
～タケズキッチン～







# 【SNS発信用チラシ】



※個人や地域仲間、  
地コミのInstagram、  
facebookで発信

## 【北陽みんなの学校の様子】



※北陽小児童がメインながら、ランチだけを食べに来る地域の方もいた  
※少人数ながらシニアの方もグループでランチを食べに来ていた



## 【北陽みんなの学校の様子】



※食べた後は自分のお皿は自分で後かたづけ

※波佐見町の器レンタル「KIGAE」から色々な食器をレンタルし使用→





## 【北陽みんなの学校～タケズキッチン～料理、図書館開放】



▲図書館開放の様子

# やってみての反省と課題、今後

## 【反省】

- 開催日程の設定がスタッフの集まれる日を優先した  
(→平日開催が多く、子供や家族ファーストではなかった)
- 地域への周知に苦戦した  
(→ポスティングや自治会回覧への周知の丁寧さが足りなかった)
- 行動を起こすまでの魅力が足りなかった  
(“ぜひ行ってみたい！”という仕掛けがまだまだ足りなかった)
- 夏季開催が酷暑のため不要な外出自粛になった  
(自然のことでこればかりは予測が難しかった 🤖 )

# やってみての反省と課題、今後

【課題】 ※一部です

- ・開催日程の設定をどうするか？
  - 保護者は両親とも働いていることが多く、週末開催が良いのか？
- ・イベントや行事の周知の難しさ
  - 周知方法が世代によって多様化しているのでベスト方法が難しい
  - 各世帯へのチラシ配布、有料ポスティング、SNS発信etc
  - 小中校内「テトル配信」の“子供が見てない”という課題も見つかった
- ・学校の協力あつての開催ながら...
  - 働き方改革もあり週末開催時の学校開放をどうするか？

# やってみての反省と課題、今後

## 【今後】

- ・今後、続けるかどうか、止めることも選択肢の1つ
  - 継続経費、スタッフ確保、学校の協力体制、地域の理解etc
  - 今回に限らず「今までしてきたから…」では継続は難しくなってくる
- ・食費 & 物価高騰で経費増加にどう対処していくか
  - 今回1回当たり約10,000～15,000円の経費(人件費無し)
  - 地域事業者や住民からの寄付を募るかどうか
- ・地域交流 & 親睦優先？ 参加人数優先？ 採算優先？
  - 目的を明確にして人数が少なくても続けていくのかの判断が必要
  - もっと手軽に集まる他の“居場所づくり”を考える



# やってみての総括①



何をするか？は

**目的を明確**にして

トライ＆エラーを繰り返しながら

**“令和”**の子供、保護者、地域

そして、**運営スタッフに合わせた**

ベターな方法を探し続けていく

## やってみての総括②



小中校区という

限られた地域に縛られず

近隣の育成協や地コミ、

市内の地域仲間と一緒にあって

同じ目的のために

協働していくことが

これからの地域活動には必要（かな）

# おまけ

## 【北陽 & 大園育成協が取り組む“仲間づくり”】

他の地区に進出して育成協の輪を市内全域に広げていく(という野望 😊)



▲ハロウィン110番(大園小)



▲滑石っ子まつり(滑石小)



▲ビオトープ泥除去(大園小)



▲6地区合同大忘年会



▲巨大段ボール迷路備品貸出  
(飽の浦小)



▲アンガーマネジメント(怒りの感情)  
保護者向け無料講習会

# まず大人が楽しむ！



ズブ濡れになりながら「水鉄砲合戦」で  
子供たちと本気で対戦するアダルトチーム

ご静聴ありがとうございました！